【腸　FOLFIRI+アフリベルセプト療法について】

（フルオロウラシル＋レボホリナート＋イリノテカン＋ザルトラップ）

様　　コース目

お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
グラニセトロン注 デキサート注 ブスコパン注	吐き気止めです	5分	●														●														●
デカドロン錠	吐き気止めです	内服		⬟	⬟													⬟	⬟												
ザルトラップ注(4mg/kg)	抗がん剤です	60分	●														●														●
イリノテカン注(150mg/m2)	抗がん剤です	90分	●														●														●
レボホリナート注(200mg/m2)	5-FUの効果を強める薬です	2時間	●														●														●
フルオロウラシル注(400mg/m2)	抗がん剤です	約5分	●														●														●
フルオロウラシル注（持続）(2400mg/m	抗がん剤です	46時間	←→														←→														←

この週は
お休みです。

この週は
お休みです。

イリノテカンとレボホリナートは同時に投与します

治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気																													
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	口内炎																													
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																												
	下痢																													
		便の回数が多くなったり強い腹痛をともなったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																												
	色素沈着																													
		肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																												
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）																													
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
検査値	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
		貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少																													
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

●血圧上昇　●出血（鼻血など）　●タンパク尿　●胃腸穿孔（下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など）　●傷の治りが遅い

●血栓・塞栓（足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど）

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。
本資料は参考としてお使いください。

国家公務員共済組合連合会
大手前病院